

陸上空母離着陸訓練施設の馬毛島への移設に反対する決議

屋久島町議会は、平成 21 年 12 月 22 日防衛大臣が米軍普天間飛行場の移設候補地として馬毛島の調査を指示したという報道を受け、移設が実現した場合、騒音等による漁業、環境、世界遺産の島・屋久島の観光イメージ等に影響し、住民の生活環境や地域社会に被害を及ぼすことが懸念され、さらに、訓練による事故発生も否めないこと等住民の不安をさらに深めることから、「米軍普天間飛行場の馬毛島への移設に反対する決議」を全会一致で採択したところであるが、平成 23 年 5 月 16 日、在日米軍再編成で米軍厚木基地から岩国基地に移転する空母艦載機について、北沢防衛相が馬毛島で陸上空母離着陸訓練（FCLP）を実施する方向で最終調整に入ったことの報道を受け、種子島屋久島 1 市 3 町の議長及び首長らでつくる「米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会」は、直ちに移転反対を表明し、5 月 25 日に鹿児島県に対し移転について国に反対するよう申し入れるとともに、6 月 1 日には直接防衛省を訪れ、陸上空母離着陸訓練施設の馬毛島移転に断固反対する意志を伝えたところである。その際、防衛省は馬毛島への自衛隊施設整備と併せ、陸上空母離着訓練を視野に検討していることをいきなり言及し、本町議会としては大変な憤りを覚えているところである。

今回の防衛省からの申し入れは、地元住民の意思を踏みにじるものであり、多大な不安を与え続け、住民生活に与える影響は極めて大きいものがある。

よって、屋久島町議会は、町民並びに熊毛地域住民の不安を解消する立場から、陸上空母離着陸訓練施設をはじめとするすべての米軍関連施設、並びに陸上空母離着訓練を視野に入れた自衛隊施設の馬毛島への移設・移転について断固反対する。

以上決議する。

平成 23 年 6 月 14 日

鹿児島県屋久島町議会